

取材  
de  
キャッチ

## 異島電設株式会社 清掃と花壇の花植え、持続することで地域との交流が深まっています。

「地元企業の工場設備を中心に電気設備の設計・施工を行っている異島電設株式会社は、道路サポーターに登録して約3年、清掃と花植えに取り組んでいます。

花壇の花植えに関しては、花植え担当の責任者を決め、若手社員と一緒に歩道にある4か所の花壇の世話をしています。作業は仕事が早く終わった方などに、「花を植える時は花壇全体の配置を考えてバランスよく」と声をかけながら花苗を置いていき、若手社員が植えていきます。「花植えは思ったよりも難しいけれど、きれいな花が咲くとうれしくなる」と話しながら花苗を植えていました。

また、清掃活動は、基本的に毎週火曜日の朝7時から、10分～15分かけて会社周辺の道路の清掃を行っています。」

仕事の状況によってはできない日もありますが、週に1回、お互いの顔をみて話しながら清掃することで、お互いにより話やすくなるなど、社員同士のコミュニケーションにも役立っているそうです。

花壇に花が咲いているだけで街の雰囲気が変わってくる。そしてキレイがキレイを呼ぶ。それまであまり花に興味なかった社員も、自分たちで植えた花壇周辺に捨てられたゴミに気づき、自然とゴミを拾うように変わっていったのだそうです。花植えや清掃の時に近所の方から「ありがとうございます」と声をかけられることも多く、道路サポーター活動をきっかけにして、地域の方々との交流が深まっていると話してくれました。



取材  
de  
キャッチ

## 北九州健康友の会 小倉西支部 もっと地域の方々と一緒に、みんなで活動できたらうれしい。

「北九州健康友の会小倉西支部は、健和会大手町病院と一緒に、健康や福祉に関する学習会やイベント、サークル活動等を幅広く実施している団体です。

花植え前の11月末には、別の参加者の皆さんが夏の花を抜いて土を耕し、肥料を入れて花植えのための準備は万全。12月7日冬の花植えの日、時間になると看護師さんや放射線技師など病院職員の皆さんが集まってきます。病院前の歩道にある4面の花壇に、今回はキンギョソウ、ビオラ、ナデシコなど6種類の花苗を植えていきます。まずは1つ目の花壇からスタート。花壇の手前にロープを張り、ロープに沿って間隔をとって花苗を置いていきます。それを4列にバランスよく配置できたら、次の花壇に移動し、4面の花壇に配置できたら、いよいよ花植えの開始です。10cmほどの穴を掘って、花苗を植え、土をかぶせて土を抑えます。人も車も通る道、安全に注意しながら作業を進めます。初めて参加する病院職員の方も多く、「土を触るのはうれしいし、楽しい」と笑顔で手を動かしていました。」

作業の途中、近所の方から「ご苦労様です、いつもありがとうございます」と声をかけられることも多く、時には次の活動日を教えると、近所の方がお子さん連れで参加してくれることもあるのだそうです。「今でも地域の方の参加はありますが、友の会と病院職員、そしてもっと地域の方が一緒になって活動できたらいいなと思っています」と話してくれました。



今度は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。 ●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、道路計画課まで。

### ホームページをご覧ください！

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。

【発行】北九州 道路サポーター事務局 北九州市 都市整備局 道路部 道路計画課 Tel: (093) 582-3888 令和7年3月発行

No.48



# 北九州市 道路を愛するみなさんを応援！ 道路サポーターだより

## 第18回 北九州市道路サポーターの会 総会開催

令和7年2月26日(水)、小倉北区のAIMビル3階G展示場で、第18回北九州市道路サポーターの会 総会が開催され、多くの方にご参加いただきました。

総会は、第1部と第2部に分かれ、第1部は北九州市道路サポーターの会福田代表の挨拶でスタートし、国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所掛田所長の挨拶に続いて、事務局から令和6年度の道路サポーターの取り組み状況についての報告があり、続いて掛田所長による九州の道守活動についての紹介、実際に活動している道路サポーター2団体による活動報告が行われました。

第2部は、主催者を代表して武内市長の挨拶に続いて、活動10年団体の表彰と国土交通省道路愛護の表彰が行われた後、参加者全員で記念写真を撮影しました。その後、各区に分かれて意見交換会が行われました。



# 第1部

## 《令和6年度》道路サポーター取り組み状況

道路サポーターの会事務局を務める北九州市都市整備局道路計画課竹島課長より道路サポーターの現状報告と令和6年度に実施した取り組み、来年度以降の取り組みについての報告がありました。



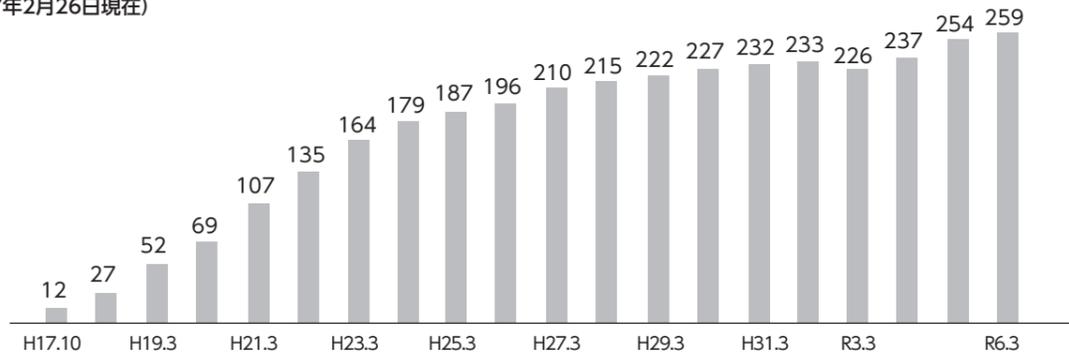
竹島課長

### 道路サポーターの現状報告

#### ■ 団体数の推移

現在、273団体が道路サポーターとして活動!!

(令和7年2月26日現在)

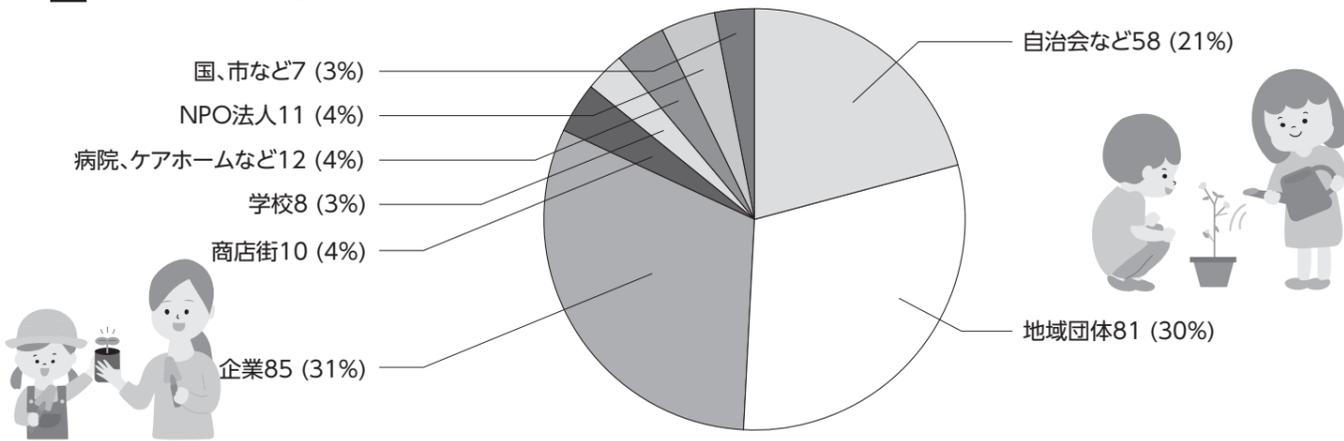


《創設から20年目を迎えた現在も増加中!》

- 要因
- ・市民の環境意識の高さ
  - ・「北九州SDGs登録制度」や社会貢献活動に取り組む企業の増加
- ※一方で、サポーターの高齢化のため登録解除も増えてきている

#### ■ 登録団体の内訳

(R7.2.26時点)



門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	合計
36団体	71団体	34団体	30団体	36団体	50団体	16団体	273団体

## 《令和6年度》新規登録団体《20団体》



八幡東区	清田1	
小倉北区	北九州商工会議所	
八幡東区	ラジオ体操と清掃クラブ	
戸畑区	戸畑リハビリテーション病院	
小倉南区	道原すがお会	
八幡西区	日本乾溜工業(株)北九州営業部	
小倉北区	魚町一丁目商店街振興組合	
小倉北区	魚町商店街振興組合	
若松区	若松市民公園清掃団	
戸畑区	株式会社弥栄	
八幡西区	一般社団法人 実践倫理宏正会 木屋瀬会場	
八幡西区	特定非営利活動法人 則松金山川コスモス会	
八幡西区	株式会社 ドーワテクノス	
八幡西区	株式会社 アイム製作所	
若松区	若松ロータリークラブ	
小倉北区	株式会社WECARS 小倉西港店	
小倉南区	株式会社WECARS 小倉南店	
門司区	小森江小学校・愛の坂道花壇愛好会	
門司区	福岡トランス株式会社	
小倉南区	デイサービスふらっとハウス	

# 令和6年度の主な取り組み

## 令和6年度の表彰(個人・団体)

### 「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

・馬六フラワー会(小倉北区)

### 北九州市都市緑化功労者表彰

・特定非営利活動法人あそびとまなび研究所(若松区)  
・船越愛護会(八幡西区)

### 道守功労者表彰(道守九州会議)

・西本町3丁目花壇愛護会(八幡東区)



## 道路サポーターと連携した取り組み

### パルクール世界選手権に合わせた清掃活動

- ①開催1カ月前に道路の損傷等の点検と通報を実施
  - ②開催前日に会場周辺のごみ拾いや除草を実施
- ⇒近隣の道路サポーター3団体と市職員が参加しました



活動状況



大会当日には道路上でイベントが実施されました!

## 一人一花割引制度の開始

【概要】対象店舗で花苗等の園芸資材を購入する際に5%割引される

【運用開始】令和6年11月11日から

【対象団体(個人)】  
・北九州市道路サポーター  
・花咲く街かどづくり推進協議会  
・北九州市フラワーコーディネーター  
・道路ボランティア花壇  
・パートナー花壇

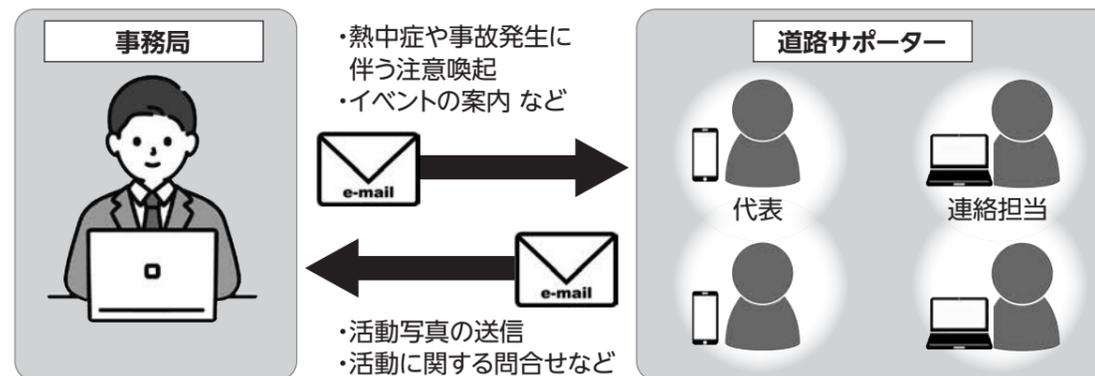
【留意事項】  
・団体証明書の提示が必要(1団体に1枚発行しています)  
・団体証明書は有効期限あり(令和7年度の証明書は3月末までに送付)



# 来年度以降の取り組み(案)

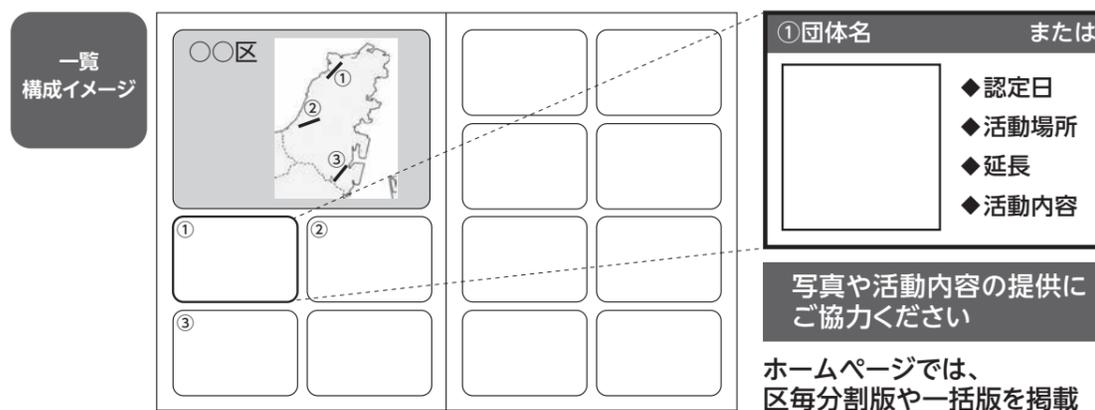
## 電子メールによる連絡体制の構築

簡単なお知らせやイベントの案内等を速やかに連絡できるように、各団体最大2名までメールアドレスを登録いただくもの。



## 団体紹介一覧の作成

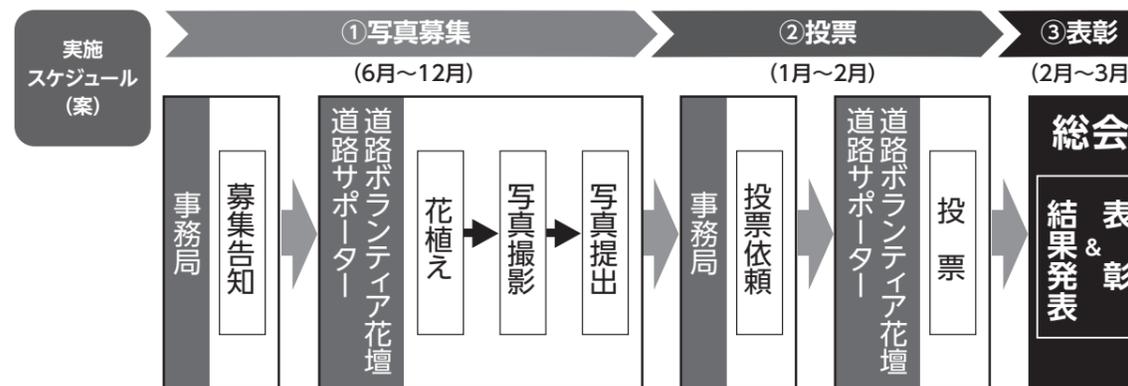
各団体の情報を紹介する一覧を作成し、道路サポーターホームページに掲載して、各団体の活動の情報を共有し、団体間の交流促進を図る。



## (仮称)『箱庭自慢コンテスト』の実施

道路サポーターや道路ボランティア花壇の皆様が綺麗にお手入れした自慢の花壇の写真を応募していただき、コンテストを実施する。

- 効果
- ・活動の成果を他の団体に知ってもらえる
  - ・他の花壇を見て、レイアウト等を参考にできる



# 九州の道守活動紹介

国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所掛田所長から九州の道守活動について紹介がありました。

## 道守とは

道守とは道の番人。私たちは古代の「道守」の心を温め、現在という新しい時代の暮らしの中から「道」を見つめ、「道守」の心を継承・発展しようと思うものです。

道守九州会議というものがあり、平成16年設立で、道路サポーターの皆様方とほぼ同じ時期にスタートしました。各県ブロック単位で道守県会議と全体の道守九州会議があり、それぞれの活動を行いながら、連携と意見交換を行っています。道守九州会議の活動人数は全体で約44,000人。この中で北九州市道路サポーターの会の会員数が九州全体の約2割と最大規模となっています。

## 他地域の道守活動について

他の地域でも様々な活動が行われており、他の団体と連携して清掃活動を行ったり、ひな祭りやマラソンなどのイベントに合わせた活動の事例も多くなっています。大分県では道の駅、日本風景街道、道守九州会議の3つの団体が一緒に取り組むことで、同じフィールドで相乗効果が期待できるため、3つの輪の連携をメインに取り組んでいます。

## みちづくし in 鹿屋 2024

昨年の10月24日と25日に鹿児島県鹿屋市で、「宇宙へつづく光る道へ」をテーマに「みちづくし in 鹿屋 2024」が開催され九州全体から多くの方々が集い、学びの多い場となりました。次回、今年は宮崎県延岡市での開催を予定しております。

## 北九州国道事務所の新たな取り組み

### 「みち灯り」プロジェクト～道から街を明るくしませんか～

道路において・夜道が暗いので明るくしてほしい・街をもっと明るくしたいなどの、防犯や景観向上の観点からの歩道への照明灯設置のニーズがあります。しかし、国や市などでは、防犯灯、景観を良くするための照明を設置することは難しい。そこで、このようなニーズに対応するため、全国で初めて、照明灯の設置・管理を担う企業等を公募し、企業等と国土交通省北九州国道事務所が協定を結び、賛同いただいた企業等には照明灯を設置し管理をしていただく。国土交通省北九州国道事務所は、地域のために取り組んでいる企業等名を記したサインボードを設置するというものです。

全国で初の取り組みとして、まずは小倉北区三萩野交差点の周りを明るくして皆さんに見ていただいた上で他の地域に広げていきたいと考えています。

### ■ 設置希望ニーズ調査

併せて、今後他の地域への展開を検討するため、企業・団体による照明灯設置のニーズ調査を行います。

### ■ 設置対象道路

北九州国道事務所が管理する国道2号、3号、10号及び201号北九州市内の一般道(高速道路や都市高速道路は除く)

### ■ 今後の予定

- ・小倉都心(三萩野地区)で先行的に実施
- ・ニーズ調査も踏まえ各地域に順次拡大。(道の駅や物産販売所、役場や緊急時の避難場所など)

例えば地震発生時などで停電しても、「みち灯り」を頼りに避難所に導かれていくことができると考えている。



掛田北九州国道事務所所長



道守活動(清掃活動)



みちづくし in 鹿屋 2024 交流会



国道3号三萩野交差点付近の夜間



みち灯りのイメージ



# 団体からの活動報告

株式会社奥村組 九州支店 八幡東区

株式会社奥村組九州支店では2006年6月から会社周辺の清掃活動を開始し、現在に至るまで19年活動を継続しています。活動は2ヶ月に1回、年に6回。山王交差点からジアウトレット北九州がある枝光交差点までと、スペースワールド駅までイオンモールがある道路沿いの清掃活動をしています。業務の都合もあり、毎回2、30人が道路サポーターの帽子をかぶって集合し、5～10袋のごみが集まります。商業地域の側に位置していることがゴミが多い要因かなと考えていますが、毎回拾いがいのあるエリアであると感じています。

道路サポーターの活動を通じて感じたメリットの1つ目が、街を美しく保つことで近隣住民の方々や地域を訪れる方々に快適な環境を提供することができること。地域の魅力向上に貢献して、観光やビジネスの活性化に繋がっていかれたらと考えています。

2つ目は職場における環境意識の向上。職場の有志職員で活動しているのですが、参加することで参加者自身の環境意識が高まっており、こうした一人ひとりの意識向上が持続可能な社会の実現に繋がっていくのではないかと考えています。

3つ目は職員同士のコミュニケーションの深まり。職員同士、面識はあってもゆっくり話す機会が少なかったが、この清掃活動が職員同士のコミュニケーションの場にもなっていて、積極的に参加する職員も増えてきています。

春、夏、秋、冬と季節を感じながら体を動かすことは健康増進にも繋がっていると思います。揃いの帽子をかぶることで「チームの一員として清掃を行うんだ」と一体感を持って活動できる。また、私共が清掃している様子を見た人達に、「あの帽子をかぶっている人たちは何をやっているの?」と興味を持ってもらうことで、見ている方も環境意識向上のきっかけになるのではないのでしょうか。こうした活動が長い期間続いていて、現在でも日常的なイベントになってくるまでに至りました。今後もきれいなまちづくりのために、続けて頑張っていきたいと思っています。



(株)奥村組九州支店



# 団体からの活動報告

## 北九州健康友の会 小倉西支部 小倉北区

北九州健康友の会は北九州市内で医療や介護、福祉事業を営んでいる公益財団法人健和会と一緒に、安心して住み続けられるまちづくりを目指して活動しており、会員は約33,000世帯。その中で小倉西支部は健和会大手町病院と一緒に、小倉北区の大手町病院周辺を中心に様々な健康づくりの取り組みを行っています。会員は約2,400世帯。健康づくりに関するイベントやサークル活動などに大手町病院の職員と一緒に楽しく取り組んでいます。

道路サポーターとして2022年11月15日に認定され、2023年1月から花壇の花植え活動を始めて丸2年。小倉西支部の支部員はもちろん入院されている患者さんやご家族、外来や検診など利用されている皆さん、医師をはじめとする職員の記憶に残る、花があふれる病院を目指しています。大手町病院の周りに花壇があり、近所の方や友の会の会員さん、職員で管理しています。

道路サポーター認定から3年目を迎えるにあたり、もっともっと多くの皆さんや病院職員全体で関われるような、花を通じた出会いの花壇を作りたいと考えています。病院外花壇のため、友の会会員が自宅から頻りに管理することが難しく、手間もかかり、雑草対策や水やりには苦心しています。昨年の夏も、毎日陽が射す前の午前6時頃と太陽の沈んだ夕方5時過ぎに水やりをしました。無事に咲くのか心配していましたが、鮮やかな花が花壇一面に咲いて、「きれいね」「かわいいわ」など花壇の前を通る皆さんから喜ばれ、気持ちがほっとしました。

道路サポーターに認定された当初は、花の手入れの仕方や花そのものについてあまり知らない中でスタートしました。2023年6月の春の花の手入れの際に、肥料だと思ってまいたのが冬の雪対策用の塩化ナトリウムで、気づいた時にはすでに広範囲にまいてしまった後でした。みんなで手分けして土をとったのですが、2か月後に手遅れと分かる結果となりました。花壇の一部分の花が咲かなかったのです。咲いても少し花の色がくすんで見えました。花には大変悪いことをしました。ごめんなさい。

こうした失敗も経験しながら現在も花壇の手入れをしています。現在、花壇には小さなお子さんたちやその親御さんたちも手伝いに来られたり、いろいろな方々の思いが詰まった空間となっています。花壇を通じて自然の営みや強さ、不思議さ、難しさ、そして楽しみながら感じ、共感できる喜びを味わっています。

昨年11月と12月に冬花を600株植えました。友の会会員8名、近所の方2名、職員25名の総勢35名で、両日とも2時間程で一気に行いました。もっともっと多くの皆さんや病院職員全体で関われるような、花を通じた出会いの場を作りたいと考えています。



## 第2部

第2部は主催者を代表して武内市長の挨拶からスタートし、活動10年団体表彰、国土交通省道路愛護表彰と続き、受賞者に表彰状が贈られました。その後出席者全員で記念撮影を行い総会を終了しました。

### 市長挨拶(要約)

北九州市に初めて来られた方から、「緑もいっぱい、花もいっぱい、本当にきれいな街ですね」という声をよく聞きます。予想以上にきれいな街だと言っただけだと仕事がしやすくなり、勇気づけられます。本当に皆様のご尽力にお礼を申し上げたいと思います。

平成17年からスタートした道路サポーター制度も月日を重ねて20年たった今では270団体190kmで活動頂いております。夏場の水やりや草取り、秋には落葉の清掃、年間を通じてご活動いただき本当に有難いことだと思っております。皆さんが高い志を持って行われている活動により、市民の皆さんも大きな力をいただいていると思います。

北九州市は今、一人一花運動を進めており、昨年の11月から一人一花割引制度がスタートしています。花の苗や園芸用品を購入する際に5%割引を受けられる制度で、その輪が広がってきているところです。皆様の活動を少しでもサポートできれば大変うれしく思います。

北九州市としては、これからも街の景観を向上させていく、彩りのあるまちづくりにしっかりと力を入れていきたいと思えます。街の総合力は、企業が来る、雇用が増える、これももちろん土台として必要ですが、街の中に様々な彩りがある、潤いがある、そして人の繋がりがあがる。それが一番肝要でありますので、都市の力をさらにさらに高めていくために皆さんの力をお借りしたいと思います。

北九州市は、昨年1年、人口の転入超過を60年ぶりに達成するというニュースも出てきました。この街の持っている力、人の力のおかげで様々な前向きな動きも多くなってきました。北九州市の街は今、確実に明るい兆しが見えてきている、そして前向きな動きが出てきている状況にあると思えます。これはこの街を守って来られ、支えて来られた先人の皆様のご努力の賜物であり、この街の人の力、街の力の賜物であります。多くの皆様の知恵とご経験、これがしっかりとカタチになっていることに感謝申し上げます。ぜひ次の世代にも皆様の知恵と経験をしっかりと引き継いで行けるような、若者や子どもにも集まってもらえるような街づくりをやっていきたいと思っております。

### 活動10年団体表彰

平成26年に登録した9団体が、活動10年の表彰を受賞(認定日順)



小倉北区	新馬借
小倉北区	みずほふれあい花壇
八幡東区	九州電力(株)北九州西営業センター
小倉北区	日本資源流通株式会社
小倉北区	北九州モビリティデザイン研究会
八幡東区	NPO法人北九州ウォーキング協会
小倉北区	町を美しくする会
小倉南区	榆の木坂 すみれっ子
小倉北区	日明リサイクル工房

### 「道路ふれあい月間」国土交通大臣表彰

令和6年度「道路ふれあい月間」表彰受賞団体(認定日順)



小倉北区	小倉商業高等学校 インターアクトクラブ
若松区	特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所
八幡西区	穴生第二道路愛護会
八幡西区	藤原自治区会道路美化グループ
八幡西区	船越愛護会

## 区会(区毎意見交換会)

総会の後、各区毎に5つのブロックに分かれて区会が開催され、今後の種子の活用などを主な議題として、意見交換を行いました。

### 門司区

### 小倉南区

- タネが欲しいと言われる団体が多い。
- 軍手などの用具一覧の中で、タネが選べるようにするといいいのではないか。
- 夏が暑すぎて苗よりも雑草が多くなる。
- 夏、冬の天候に強い品種をお願いしたい。
- 多年草を植え替えているが、タネの活用はこれからの課題。



門司区 小倉南区

### 小倉北区

- 種子の活用については、実際にはタネから育てるのは難しいと思う。
- タネから育てるには人手が必要だと思う。



小倉北区

### 八幡東区

### 若松区

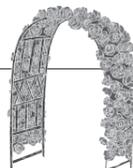
- 「ほこみち」(歩行者利便増進道)に取り組みたいので教えてほしい。
- 道路サポーター活動をしている他の団体と交流を図るにはどうすればいいか。
- 清掃活動をしているが、いつも同じ場所にゴミが繰り返し捨てられるが、植木の奥で拾うのに苦労している。



八幡東区 若松区

### 八幡西区

- タネから育てるのは難しく、うまくいかなかったという団体もある。
- コスモスはタネから育てやすい。プランターでやっている。
- 80代以上がほとんどでメンバーの高齢化が課題となっている。
- 例えば道路沿いにある飲食店等や企業を巻き込んで行くといいいのではないか。
- 異常な暑さで夏場の活動が大変。活動の際にお茶をもらうことはできないか。



八幡西区

### 戸畑区

- タネの種類を見直して、配布時期に合ったものを支給してほしい。
- タネの支給量が少ない。タネから育てるには専用の土が必要なため土の支給を検討してほしい。
- タネを植える広いスペースがない。狭い場所で育てるのは難しい。
- 区内の空き地にまとめてタネを植えて、花苗の支給に充てることはできないか。



戸畑区

## 団体交流掲示板

～取材 この道では、どんな皆さんが活動しているの?～

身近なところで、いきいきと活動を継続している団体の皆さん。それぞれのちょっとした工夫やアイデアが、これからの活動のヒントになるかもしれません。



もしかしたら、こちらの団体さんって私たちのすぐ近くかもMAP

取材 de キャッチ

### 前田二丁目北道路サポーター 心身ともに健康をモットーに、楽しく活動を続けていきたい。

活動は、八幡東区の前田一丁目交差点付近の植樹帯に花苗を植付け、周辺の歩道の清掃を行っています。活動を始めたきっかけは、毎日通行する交差点の植樹帯の草が気になり除草を始めたことだそうです。

「はじめると仲間が増え、会員13名、花壇は100㎡を越えました。清掃は交差点から各方面に100mほどを定期的に行っています。

令和4年の年末には道路サポーターにも加入し、歩道の清掃と合わせて、草のなくなった「ただ土だけ」の植樹帯に草花も植えました。」

通りすがりの方からも「綺麗になりましたね」とお褒めのお言葉まで頂けるようになったそうです。

昨年の夏はとても暑い夏で、花壇の水やりが大変で、台車にジョコを乗せて何回も往復して作業をされたそうです。

暑さが去って涼しくなったころから少しずつ草花も回復し、11月植替えの時期には勿体ないくらい美しく花を咲かせてくれました。

「植替えに合わせて、一年草以外に宿根草も一部加えました。

一年草のように周年楽しめる草花と季節になると開花する植物を楽しんでいます。」

活動は、清掃、草花管理そして体を動かすことで、心身ともに健康をモットーに「これからも楽しく続けていけるよう頑張っていますよ!」とお話をしてくださりました。



取材 de キャッチ

### 河内さくら愛護会 美しい河内の自然の中での活動は、訪れた人たちの喜ぶ声が原動力。

「令和4年10月18日、道路サポーターに登録しました。

活動範囲は河内堤防から東河内バス停まで約400mを26名で清掃を主として活動をしています。

河内で活動をはじめたきっかけは、飲みごとは楽しいけれど、「地域のみんなで地域のために何かできたらもっと楽しくなるね」と周囲の方に話をしながらゴミ拾いや河内貯水地の遊歩道の落葉清掃に取り組んだことが始まりでした。

活動を続けている時に「道路サポーター」制度を知りました。調べたところ、活動を行っている道路が登録できる範囲であったこと、資材等の支援も受けられることを知り、みんなで大喜び登録しました。

活動を続けていく中で、活動範囲が「自分達の道」というくらいに愛着がわき、いつの間にか道路の清掃だけでなく、遊歩道の両サイドに植樹されているアジサイの手入れや、道路沿いの桜の剪定まで加わり、活動の幅が広がっています。

手にしたことがないサミや道具類を購入し、管理方法も勉強をしながら手探りで進んでいます。

今では年間を通じての計画までたてられるようになりました。来年度は、その他の植物の管理にもチャレンジしたいと思っています。いろいろな楽しみ方を絡めてみんなで楽しんでいます。」

河内貯水地は北九州市の中でも有数の観光地です。

自然がたくさんあり貯水池には多くの水鳥が飛来し、素晴らしい場所です。来てくださった方の喜ぶ声や活動を応援して下さる方の励ましのお声が原動力となり、ますます活動が盛り上がりつつあります。

道路サポーター組織に加入、同じ思いを持った方々が様々な場所でボランティア活動をされています。是非、お互いの活動の話を聞きながら作業の参考になったり、団体同士の繋がりも広がっていただけると素晴らしい活動になると考えられています。

